

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	早期パーキンソン病患者に対する包括的外来リハビリプログラムの有用性：運動習慣と転倒関連指標
研究責任者	代表：明神寛暢 分担研究者：リハビリテーション部 嶋倉智恵子 榊原郁 吉田茉里
研究実施体制	解析およびデータ収集(嶋倉、榊原)；単一施設、後ろ向き及び前向き観察研究
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2026年5月
対象者	2025年7月～2026年〇月までに、早期パーキンソン病患者さんで包括的外来リハビリ介入が実施された方、もしくは実施予定の方
研究の意義・目的	パーキンソン病における運動療法の有効性は多数報告があります。しかし病初期は治療が奏効すること、社会生活が維持されることから、患者さんの「困り感」は少なく、運動の必要性を理解するまでには至らない場合が多いです。 リハビリの早期介入は、将来的な機能予後の改善が見込めるだけでなく、医療・介護費の抑制にもつながる可能性があります。リハビリプログラムが、運動習慣獲得と患者さんの行動変容を促すきっかけになることを期待し、本研究を行います。
研究の方法	【方法】2025年7月から倫理審査承認日までの症例については診療情報を用いた後ろ向き解析を実施し、承認後は同様の患者群を前向きに登録し、運動習慣と機能変化を評価する。【選択基準】当院で初期のパーキンソン病と診断された患者さん 【除外基準】Hoehn-Yahr分類1・2以外 【予定症例数】20～30例程度
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 脳神経内科 (氏名) 明神 寛暢 TEL:053-474-2222(代表) 脳神経内科 9:00～17:00 平日